

C 東電福島原子力発電所事故に伴う交通への影響と  
対応状況



## C 東電福島原子力発電所事故に伴う交通への影響と対応状況

- 福島原子力発電所事故により、沿岸部から内陸部への避難が最優先課題となり、自家用車による避難の他、県・市町村による輸送が行われた。
- 福島県内の避難所においても、医療機関や小売り事業者等により、避難所から商業施設や病院までの移動手段が確保された。
- 行政機能ごと避難した自治体では、避難先の自治体や既存の交通網との調整を図りながら、仮設住宅の生活の足の確保に取り組んでいる。

### ○発災以降

---

- ・福島県では、東電福島原子力発電所事故が発生した。
- ・政府により、事態の推移に応じ周辺地域に対し住民の避難指示等が行われ、内陸部への避難が開始された（一次避難）。
- ・福島第一原子力発電所の半径 10 km圏内に一部が含まれる富岡町では、3/12 に隣接する川上村に避難し、その後、避難区域の拡大により、3/16 に川上村とともに郡山市に避難した。
- ・大量の避難者を受け入れた内陸部の自治体では避難所が不足したことから、一部の避難者をホテル・旅館に避難させる二次避難が行われた。
- ・一次避難、二次避難は、自家用車による避難の他、県や市町村がそれぞれに、バスを確保し、避難輸送を行った。
- ・一次避難については、緊急的な対応として、県災害対策本部がバス事業者に直接要請し、バスを確保したが、二次避難については、計画的に行われたことから、効率的にバスを確保するため、バス協会を通じてバス事業者に要請する方法が取られた。

### ○避難所における取り組み

---

- ・一次避難所や二次避難所では、避難所から入浴施設や商業施設までのバスが運行された。

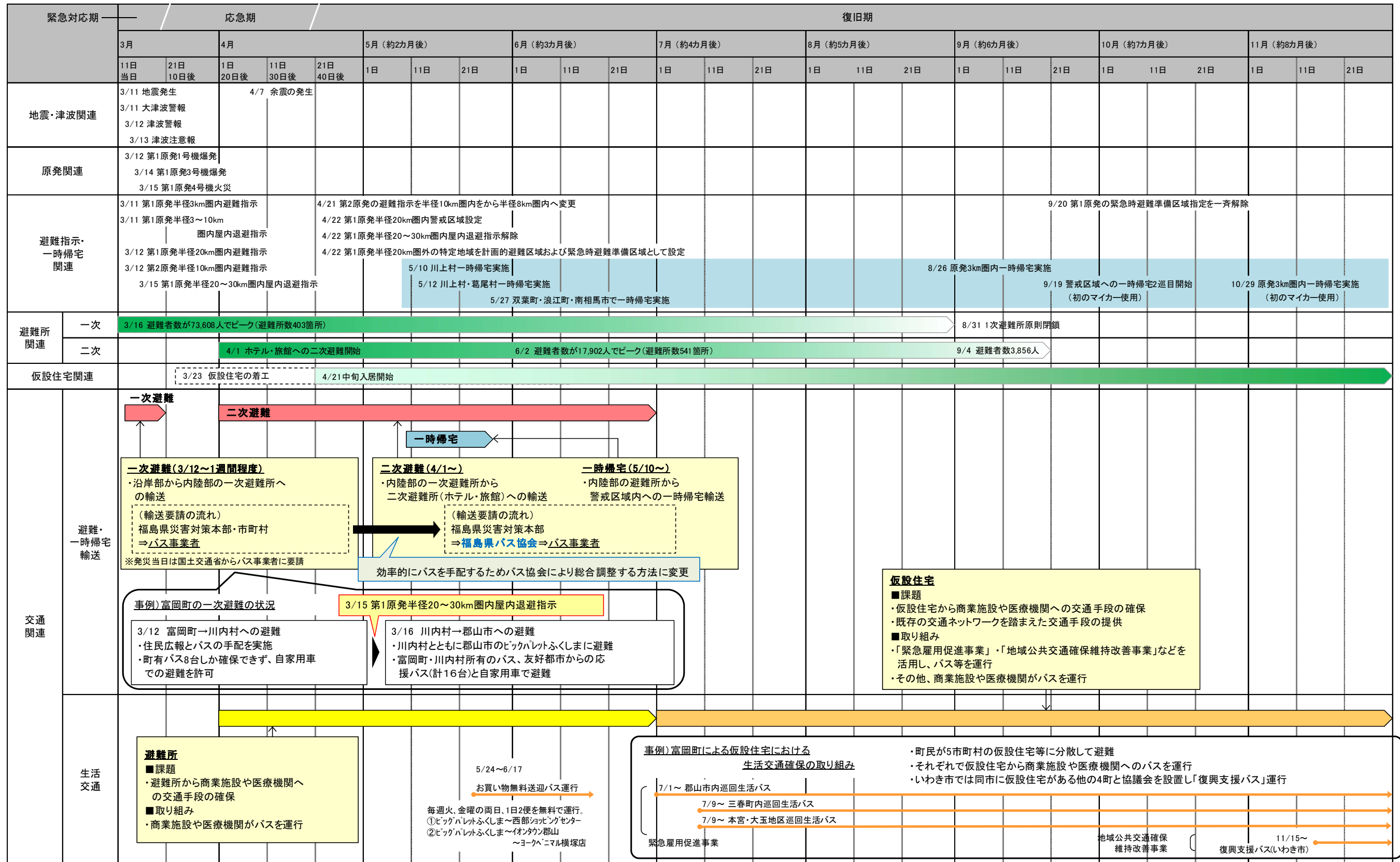
### ○仮設住宅における取り組み

---

- ・避難所の大半が解消され、仮設住宅に移行してからは、仮設住宅における生活の足を確保の取り組みが行われている。
- ・福島県では、原発事故により行政機能を含め他市町村に避難したことから、取り組みに当たっては、避難先の自治体や既存の交通網との調整が必要になっている。また、仮設住宅が複数の自治体に分散している自治体もあり、それぞれの仮設住宅での取り組みも必要になっている。
- ・富岡町の仮設住宅は 5 市町村（郡山市、いわき市、三春町、本宮市、大玉村）に分散しており、それぞれで巡回バスを運行している。
- ・そのうち、いわき市では同市に避難する他の 4 町（広野町、楡葉町、大熊町、双葉町）とともに協議会を設置し、「復興支援バス」を運行している。



■福島県（沿岸部の都市）における交通サービス等の提供状況



（資料：既存公表資料、ヒアリング結果を基に作成）



■福島原子力発電所事故による避難に関する各機関の対応状況

回答	対応状況
国	<p>○避難用バスの調整状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月11日の福島第一原発に係る原子力緊急事態宣言以降、危機管理センターでは、住民避難が必要になることを想定し、避難のために必要なバスを手配する必要があることから、同日21時頃、国土交通省自動車局旅客課に対して、避難用のバスを100台ほど貸し切るよう依頼した。</li> <li>・同旅客課は、具体的な派遣場所、派遣時間、業務に携わる期間等が分からなければバス会社に手配を依頼できないことから、官邸の危機管理センターとの間で必要事項を調整した上で、東北・関東エリアのバス会社に手配の依頼を行った。</li> <li>・手配されたバスは、大熊町にあるオフサイトセンターに集められ、そこで、現地対策本部の職員によって、必要な自治体へ割り振られ、3月12日5時44分に出された福島第一原発から半径10km圏内からの避難の際に使用された。</li> <li>・ただし、現地対策本部に必要な要員が集まらなかったこと等により、バスの割り振りはスムーズには行われず、また、地震による道路の損壊や避難車両による道路渋滞などの影響で、バスを必要とする全ての自治体に必要台数が行きわたることはなく、結果としては、ほとんどのバスが、大熊町等の一部の自治体の避難に使用されることとなった。</li> </ul>
福島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の半径3km圏内の避難指示に係る避難に関しては、官邸主導。</li> <li>・県の関与は、一部避難先市町村との調整や県有施設の避難所の開設以外ほとんどない。避難先の確保に当たっては、空間放射線量等は考慮していない。</li> <li>・10km圏内の避難指示に際し、市町村が独自にバスを手配し、自家用車で避難しているところもあった。</li> <li>・災害時要援護者の避難について、自衛隊や警察の協力のもと、避難手段の手配などを行った。なお、国、市町村の状況は把握していない。</li> </ul>
富岡町・川内村	<p>■富岡町→川内村への避難について（3/12）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富岡町は、避難に際し、住民広報とバスの手配を実施。町民約16,000人に対し、町有バス8台しか手配がつかないため、自家用車による避難を認めた。</li> <li>・このため渋滞が発生した（通常25分程度のところ、最大6時間）。※県が最初の避難指示のために民間バスを確保したため調達できず。</li> <li>・残留者の確認は役場職員が一時避難所を回って確認したが、戸別確認は出来なかった。また、災害時要援護者に対する特別な対応は出来なかった。</li> <li>・川内村の避難者受入れ最大約6,100人。食糧、水、衣料品、情報の不足。</li> </ul> <p>■富岡町・川内村→ビックパレットふくしまへの避難について（3/16）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富岡町及び川内村は、半径20km～30kmの屋内退避指示を受けビックパレットふくしま（県有施設）に全域自主避難することを決定。避難場所は、物流及び駐車場を確保の観点から選定。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・川内村は住民に対し防災無線で自主避難を指示。</li><li>・輸送手段は、バス16台（友好都市からの応援バスと富岡町及び川内村のバス）と自家用車。</li><li>・ビックパレットふくしままでの最大避難者数約2,300人（内、川内村民562人）</li></ul>
--	--

（資料：東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会中間報告、青森県原子力防災対策検討委員会資料から避難に関する記述を抜粋）



事例 No	136	時期	復旧期	類型	買い物支援バス
名称等	被災者応援お買い物無料送迎バスの運行				
担い手	西部観光バス、福島観光自動車				
概要	ピックパレットふくしまに避難する住民の支援を目的に同所から市内のショッピングセンターを無料で結ぶ「被災者応援お買い物無料送迎バス」を4/24～6/17まで週2日運行。				
<p>注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。</p> <p>(「郡山で被災者応援お買い物無料送迎バス運行」、三陸新報 2011年4月20日)</p>					

事例 No	137	時期	復旧期	類型	買い物支援バス
名称等	お買いもの支援バス運行				
担い手	リオンドールコーポレーション(小売事業者)				
概要	北塩原村の宿泊施設に滞在する大熊町、浪江町の二次避難者のため「お買いもの支援バス」を無料で運行。貸切バスを使用し、猪苗代湖、喜多方市に向かう2コースがあり、それぞれ週1回の運行されている。				

注) 著作権の関係から、ウェブサイト上に掲載する参考資料編には、新聞記事の転載は行っていない。

チラシ↓

**運行期間** (期間限定) (予定)  
平成23年5月16日～8月末

バスは(資) 広田タクシーの貸切バス使用、中型バス(42~43名乗り)にて運行致します。

① 裏磐梯高原方面⇒猪苗代 毎週月曜日運行 片道約45分

乗降地名	1便	2便	3便	4便
1 裏磐梯福蔵ホテル	8:30	10:00	13:30	
2 辻辻セブンイレブン前	8:35	10:05	13:35	
3 五色沼入口看板前	8:38	10:08	13:38	回送
4 秋元沼入口看板前	8:41	10:11	13:41	※乗車
5 小川医院	9:05	10:35	14:05	※乗車
6 リオンドール猪苗代店	9:10	10:40	14:10	※乗車
7 猪苗代町立病院	9:15	10:45	14:15	※乗車

② 曾原湖方面⇒猪苗代 毎週火曜日運行 片道約55分

乗降地名	1便	2便	3便	4便
1 レイクウッドの共同駐車場	8:25	9:55	13:25	
2 風連ペンションハイジ前	8:30	10:00	13:30	
3 風連森清防犯用前	8:33	10:03	13:33	
4 休庵村養蜂入口	8:36	10:06	13:36	回送
5 ホテル白雲荘前	8:39	10:09	13:39	※乗車
6 秋ヶ崎ペンションハイジ前	8:42	10:12	13:42	※乗車
7 小川医院	9:10	10:40	14:10	※乗車
8 リオンドール猪苗代店	9:15	10:45	14:15	※乗車
9 猪苗代町立病院	9:20	10:50	14:20	※乗車

③ 裏磐梯高原方面⇒喜多方 毎週木曜日運行 片道約1時間30分

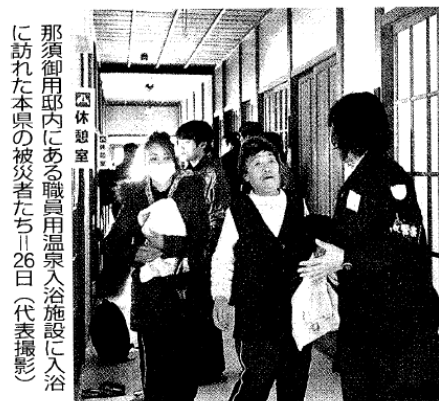
乗降地名	1便	2便	3便	4便
1 秋元沼入口看板前	8:30	14:00		
2 五色沼入口看板前	8:33	14:03		
3 辻辻セブンイレブン前	8:36	14:06		
4 裏磐梯福蔵ホテル	8:40	14:10		
5 入澤病院	9:40	15:10		
6 リオンドール喜多方仲町店	9:45	15:15		
7 リオンドール喜多方西店	9:55	15:25		
8 佐原病院	10:00	15:30		

④ 曾原湖方面⇒喜多方 毎週金曜日運行 片道約1時間45分

乗降地名	1便	2便
1 レイクウッドの共同駐車場	8:25	13:55
2 京ロニーデ前	8:30	14:00
3 風連森清防犯用前	8:33	14:03
4 休庵村養蜂入口	8:36	14:06
5 ホテル白雲荘前	8:39	14:09
6 秋ヶ崎ペンションハイジ前	8:42	14:12
7 入澤病院	9:40	15:10
8 リオンドール喜多方西店	9:50	15:20
9 喜多方仲町店	9:55	15:25
10 リオンドール喜多方西店	10:05	15:35
11 佐原病院	10:10	15:40

(「お買い物支援バス運行 リオン・ドール 北塩原の被災者に」、福島民報 2011年5月17日)

事例 No	138	時期	応急期	類型	入浴支援バス
名称等	自治体が入浴支援バスの運行				
担い手	那須町				
概要	那須御用邸内にある職員用温泉入浴施設が那須町に避難している福島県の被災者に開放された。4月末まで週2回、1日50人を受け入れ予定。那須町では、避難所からの送迎バスを運行。				



那須御用邸内にある職員用温泉入浴施設に入浴に訪れた本県の被災者たち（26日）（代表撮影）

## 那須御用邸で入浴

本県被災者 温泉開放に笑顔

栃木県那須町の那須御用邸内にある職員用

温泉入浴施設が二十六日、同町に避難している本県の被災者に開放された。「何か役に立つことはできないか」という面陸下の意向を受けて実現したもので、雪の中をバスに乗った二十二人が訪れた。

宮内庁によると、同庁関係者以外が利用したのは初めて。栃木県は保健師を派遣し、入浴に来た住民の健康相

談などに応じた。相馬市の板垣光延さん（四八）は入浴後、顔をほてらせて「めったに入れないところに入れてうれしい」。浪江町の平子葵さん（七〇）は「外は寒かったけど、温泉で温まった」と笑顔を見せた。

今後は那須町が避難所から送迎バスを運行し、四月末まで週二回、一日五十人ほどを受け入れる予定。

（「那須御用邸で入浴 本県被災者温泉開放に笑顔」、福島民報 2011年3月27日）

事例 No	139	時期	復旧期	類型	仮設住宅バス
名称等	応急仮設住宅生活バス				
担い手	富岡町				
概要	福島県富岡町は、福島原発事故に伴い、町民が郡山市、三春町、大玉村、いわき市の4市町村の仮設住宅等で避難生活を送っている。そのため、富岡町では、それぞれにおいて仮設住宅から商業施設、医療機関へのバスを運行している。				

■仮設住宅関連のバスの運行

No	名称	運行	運行開始	主な行先	
1	郡山市内 巡回生活バス (郡山市)	郡山中央 交通	7/1~	富田町 仮設バス	西部プラザ(商業施設) 医療タウン 郡山事務所(役場)
				緑ヶ丘 仮設バス	郡山駅 ヨークベニマル横塚店 郡山事務所(役場)
2	三春町内 巡回生活バス (三春町)	(有)つば さ交通コー ポレーション	7/9~	町立三春病院 ヨークベニマル 三春町役場	
3	本宮・大玉地区 巡回生活バス (大玉村)	協和交通 株式会社	7/9~	大玉村役場 ヨークベニマル 谷病院	
4	復興支援バス (いわき市) 【詳細次頁参照】	新常磐交 通	11/15~	協立病院 ヨークベニマル いわき駅 いわき郵便局	

※1~3は緊急雇用促進事業、4は地域公共交通確保維持改善事業を活用

(富岡町HP、ヒアリング結果を基に作成)

## 復興支援バス（いわき市）

### ■協議会の構成

- ・避難自治体：広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町
- ・受入自治体：いわき市
- ・交通事業者：新常磐交通
- ・学識経験者：芥川一則福島工業専門学校教授（会長）

### ■概要

#### (1) 運行期間

平成23年11月15日～平成24年3月31日

#### (2) 運行する内容

##### ①路線の新設

以下の4路線を新設

- 四倉工業団地～いわき駅～労災病院
- 中央台鹿島～いわき駅～労災病院
- 好間工業団地～いわき駅～労災病院（下記路線図参照）
- 南台団地～呉羽病院～植田駅前

##### ②既存路線バスの無料乗車

既存の路線バスの指定された区間を無料で利用できる。

※乗降停留所、乗車区間に制限があるほか、乗車が可能な時間帯も、降車9時00分～降車16時00分に限られる。



### ■好間地区路線図

